

## 「中種子中学校の平和学習(文化財探訪)の取組」

### 1 学校名

中種子町立中種子中学校

### 2 学年・人数

2年1組 27人, 2年2組 26人, 計53人

### 3 日時・場所

(1) 平和学習: 令和4年9月22日(木) 総合的な学習の時間

(2) 発表の日時・場所

令和4年10月29日(土)

中種子町立中種子中学校「第19回風立祭」

### 4 史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

- ・ 九州海軍航空隊種子島基地跡・昭和時代
- ・ 「戸畑の煙突」(町指定文化財)
- ・ 掩体群跡

(2) 特徴

1942(昭和17)年1月, 中種子町増田地区に海軍飛行場が建設された。滑走路建設のために, 島内の老若男女問わず動員され, 昼夜兼行で山を削り谷を埋め, 完成した。終戦前の空襲でほとんど破壊されたが, 増田地区の戸畑には, 烹炊所の「戸畑の煙突」が残っている。



[九州海軍航空隊種子島基地跡]



[戸畑の煙突の中を調べる]

## 5 地域との連携の具体

史跡についての説明（ガイド）を、町歴史民俗資料館並びに種子島こり～なの職員の方、さらに地域の方にもご協力いただいた。戦跡を巡りながら、専門家からの説明により、生徒たちは当時の種子島の生活に思いを馳せ、命の大切さや平和の尊さを理解することができた。

## 6 活用の取組の工夫した点

今回、郷土種子島の戦前・戦中・戦後の生活の様子を知り、戦争の爪痕が残されていることを目の当たりにして、これからも平和を希求する思いから、「種子島に残る戦争の歴史」として、レポートにまとめた。また、7月の修学旅行において、2年生は長崎県の平和祈念公園や原爆資料館へ行き、戦争の悲惨さや平和の尊さを学んでいる。これら一連の「平和学習」の総まとめとして、10月の文化祭の展示発表において、平和新聞（修学旅行新聞）を廊下に掲示し、学習の成果を披露することができた。

## 7 取組の様子



〔廊下に掲示した平和新聞〕



〔平和新聞〕

## 8 生徒の感想・意見

### 【生徒】

- ・ 種子島に残っている戦争跡を見ることができ、良い経験ができました。初めて見るものばかりで、きれいな形で残っていてすごいと思いました。
- ・ 飛行場を作るために家を撤去しなければならなくなった人たちのことを考えると胸が痛くなった。昔の人たちが生活していたところに実際に行くことができ、貴重な体験ができた。
- ・ 当時、たくさんの方が怖い思いをしながら生活していたことが分かって、種子島はとてもすごいと思いました。自分たちが住んでいる地域の歴史を知ることができて良かったです。